



Ridilover

Ridilover (リディラバ)

社名	株式会社Ridilover
設立	2013年3月28日
代表	安部敏樹
事業	報道メディア コミュニティ 教育旅行・研修 調査・事業開発 政策支援

「**社会課題を、みんなのものに。**」
を合い言葉に、「**社会問題**」への
認知・関心を広げる事業に
取り組んでいる団体です。

<https://ridilover.jp/>



地域の「社会課題」をコンテンツ化

伝統産業を次世代に繋ぐための
課題を知るツアー（京都市）



伝統産業/後継者不足/職人
伝統産業品を次世代に残すために
必要なことは？

ツアー内容
伝統産業を次世代に残し、驚いていくために、伝統
産業を現代のニーズにあった形で生まれ変わらせる
企業を訪問します。日本の伝統や文化を
継ぐことに、どんな意味や価値があるのか、
どのような取り組みが必要とされるのかを考えま



町家の空き家を活用した「職住一体」
の拠点から「住む京都」を考えるツアー
（京都市）



空き家/地域コミュニティ/暮らし
7年間で京の町家が5000軒減少！
「住みやすい」京都になるには？

ツアー内容
歴史ある京都の街並みの象徴でもある「町家」。
町家の取り壊しや空き家問題が深刻化する中、京
都では、「人が住みにくい」住宅の問題を抱えています。
空き家をリノベーションした「職住一体」の拠点を
見学しながら、京都への移住支援に取り組む団体と
共に、「住みやすい地域」を考えます。



「島ヤサイ」見学から、地域ならではの
食文化の伝承を考えるツアー
（糸満市）



食文化/島ヤサイ/第一次産業
地域の食文化を大切にすることで
どんな未来が見えるかな

ツアー内容
沖縄には、「ハチマ」「ゴーヤ」「チキナー」など、地域な
らではの野菜「島ヤサイ」があります。沖縄の気候に
適している栄養価が高いのが特徴ですが、近年、地
域の食文化が失われかけています。「島ヤサイ」が豊
富にそろふファーマーズマーケットを見学し、食文化の伝
承に取り組む野菜ソムリエの方にお話を伺います。

注意事項
食品アレルギーに
ついて事前にお知
らせください。



地域農業をプロデュース！SDGsにチャ
レンジする地元の若手アントレプレナー
に出会うツアー（うるま市）



地域ブランド/農福連携/第一次産業
地域の第一次産業を
SDGs視点でとらえてみよう！

ツアー内容
冬季にこそ野菜の出荷量や品目のバリエーションが
豊かになる、沖縄の農業。うるま市では、珍しい島ヤ
サイやトピカルフルーツの栽培が盛んです。地域の野
菜を全国に販売したり、離島の伝統野菜をブランド
野菜として盛り上げたり、地域の第一次産業をプロ
デュースし、SDGsの実現を目指す地域の若手アント
レプレナー（起業家）と共に、地域の農業について
考えていきます。



栽培技術を体験して、沖縄農業のこ
れからを考えるツアー（国頭郡）



有機農業/第一次産業/農業技術
あたたかい気候、台風、生態系…
沖縄農業はほかとは違う？

ツアー内容
農業では、土地それぞれの環境に合わせた栽培技
術が肝要ですが、沖縄では、本州と同じ栽培技術が
適用しようとしてしまった失敗から、農業技術の発展
が遅れています。特別栽培（農業や化学肥料を抑
えた栽培技術）に取り組む農場で農業体験を行い、
沖縄農業のこれからを考えていきます。

注意事項
畑に入りますので、
汚れてもよい靴をご
準備ください。



膨大な食品ロスのこれからを考え
るツアー（相模原）



フードロス/循環型社会/小売業
日本人全員が毎日おにぎりを2個ずつ
量と同じ量の食料が捨てられている現
知っていましたか？

ツアー内容
食品廃棄物のリサイクルを行なっている日本フ
コロジーセンターで廃棄食料やリサイクルの現状
を学んで、どうしたら廃棄食料を減らせるのか
食料はどうしたら有効活用できるのかを考えま

注意事項
臭いに敏感な人はマ
スクをご準備ください。



体験ツアーや企業向けの人材研修に



「社会課題」を知る・発見する取り組み例



企業人材の育成研修



関係人口創出ツアー



修学旅行など教育ツアー



地域の課題発見ワーク

「社会課題」に関心のある若者層が集まる

トップ > ニュース > 国内ESGニュース

7割超が「社会課題関心ある」：ミレニアル読者調査

2019.04.29

SB2019Tokyo



セッション「消費者調査からみる日本におけるグッドライフ戦略のリ・デザイン」。左からファシリテーターの江戸克栄氏、ハーチの加藤佑氏、インテージの三浦ふみ氏、講談社の関龍彦氏

「サステナブル・ブランド国際会議 2019 東京」では「消費者調査からみる日本におけるグッドライフ戦略のリン」と題したセッションが行われた。消費者調査や読者調査を基に、特に女性や若い世代に着目し、SB国際会議でもある「グッドライフ」に関するブランド戦略について意見交換が行われた。ミレニアル・Z世代が多くウェブ読者アンケートでは、7割超が社会課題に「関心がある」との結果も紹介された。(オルタナ編集部)

社会課題に関心「将来世代」 SDGs強化が人材確保に

Earth新潮流 日経ESG編集部 相馬隆宏

コラム(ビジネス) [+ フォローする](#)

2019年9月16日 4:30



今年8月末、英国から大西洋をヨットで渡り米国・ニューヨークに到着した1人の少女が注目を集めた。彼女の名前はグレタ・トゥンベリさん。スウェーデンの女子高生で、約1年前から学校を休み、気候変動対策を強化するよう世界に訴えている。国連気候変動枠組み条約第24回締約国会議やダバース会議でも演説し、今月末にニューヨークで開催される気候行動サミットにも登壇する予定だ。

気候変動を本気で解決しようと情熱を注ぐのは、環境活動家であるグレタさんだからと思うかもしれない。だがそうではない。多くの若者がグレタさんに共感し、世界で100万人以上が「学校ストライキ」に参加したとされる。

日本の若者も例外ではない。マッキンゼー・アンド・カンパニー・インコーポレイテッド・ジャパンで採用に携わる小田



学校を休んで気候変動対策の強化を訴えるグレタ・トゥンベリさん（左手前）。今月下旬にニューヨークの気候行動サミットで演説する=ロイター

地域を訪れる「入り口」が変わると・・・



移住や関係人口
の関心層



社会課題
の関心層

主体性を
もって関わる

地域の担い手
となる



地域

企業向け研修 Field Academy in 十日町



2018-2019年 新潟県十日町市にて
企業の次期リーダー人材が
集い、地域の課題に迫る、
長期研修を実施。



結果

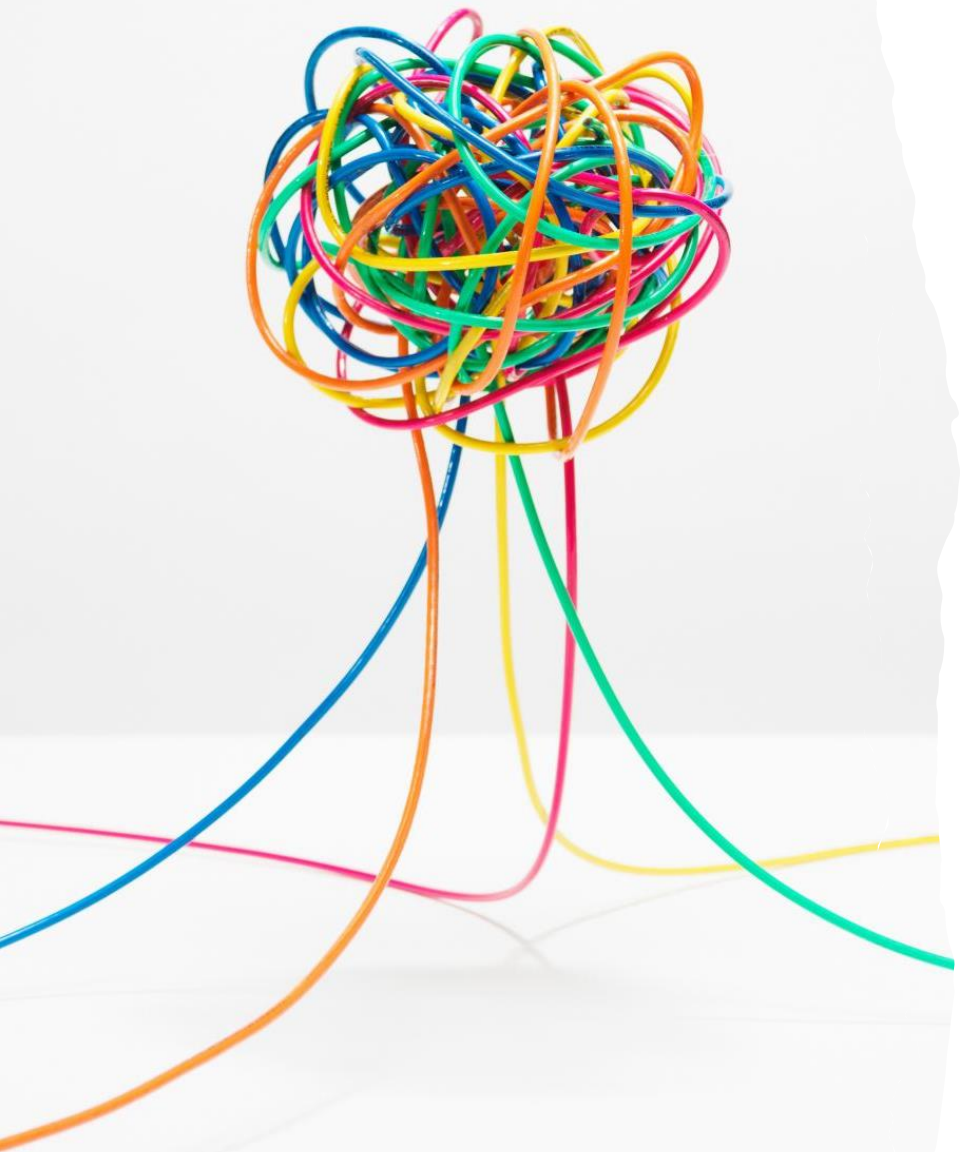
企業の利点を生かした
具体的なアクションや、
移住につながった。

越後妻有の特産を活かした寄付によるファンドレイジング

「おこめできふ」

提携した食堂で提供しているメニューを購入いただくと、NPOに寄付される。
より日常に、より気軽に、越後妻有の“米”の素晴らしさを伝える。
そして、“米”をキッカケに「大地の芸術祭」の価値を伝え、応援者を増やしていく。





「地域の課題」を ポジティブな 未来への一歩に

<https://ridilover.jp/>

